



小中学生向け ICT 教材の見直しの請願

【請願趣旨】

私は現在、長浜市内の小中学生のお子さんをもつお母さん方のサポートをする活動を行っています。その中で、お母さん方から昨年より話題に上がっていることがありました。それが ICT 教材の保護者負担による弊害です。

現在、長浜市では小中学校共に、ICT 教材キュビナが導入されていますが年間 5 0 0 0 円を超える保護者負担があります。令和 8 年度は物価高対策として、保護者負担は期間限定で無しとされております。しかしながら、来年度以降はまた保護者負担になることが想定されます。保護者負担に関しては近隣自治体と比べて高額です。

- ・彦根市 ミライシード 9 9 0 円/年
- ・米原市 イーライブラリー 0 円/年
- ・高島市 イーライブラリー 0 円/年
- ・長浜市 キュビナ 5 2 8 0 円/年

彦根市では年間約 9 9 0 円の負担であり、これまでに教材の見直しをした上での年額料となっているそうです。米原市は ICT 教材の保護者負担はありません。

また、これまでミライシードを使用されてきましたが、教職員の方々の声を受けイーライブラリーに変更となりました。高島市でも ICT 教材はイーライブラリーであり、保護者負担はありません。

長浜市だけが極端に ICT 教材の使用料が高いです。たとえ、ICT 教材が高額でも明確に近隣自治体と比べて長浜の学力や学問への取り組みに明確な優位性があるのであれば納得できます。しかし、他自治体の保護者の集まる団体と情報交換してもそれを感じることはありません。そこで、使用する ICT 教材の見直しを図っていただきたいと考えます。単純に保護者負担が多いだけでなく以下の弊害があります。

1. ICT 教材費用が高いため、保護者負担を軽減しようと学校側が気を遣い、それ以外の教材購入をおさえている。保護者側から必要な教材の購入費用はかまわないと声を上げて、学校側が極端に気を遣っている。教職員の方々からも教材を購入したくても学校の上層部からストップがかかるという話をされた保護者もいます。
2. 教材費用が高いが、学カテストの結果を見ると滋賀県内の他地域と比べて結果が出ているとは言えない。米原市ではミライシードからイーライブラリーに変更しても特に問題

がないと米原市の教育委員会に確認している。

3. 今年度は ICT 教材の補助があるおかげで昨年度より、一般教材を使っの授業が多いと聞いている。年度の保護者負担の有無によって授業内容に偏りがあるのは良くない。

以上です。

【請願内容】

- 1、 保護者負担の軽減
- 2、 低額の ICT 教材への見直し